

授業改善書

科目名	経営心理学
担当者	杉原大輔

授業の概要

組織を構成する人の心的側面を正しく認識し、経営に活用できるよう、モチベーションとリーダーシップを中心的テーマとして、これらを日常生活レベルに還元して理解できるよう映画、動画等を用いながら、Teams の会議ツールを利用したリアルタイム型のオンライン形式で実施。授業を録画し、別途にアップすることで出席できなかった場合や追加の履修者でも初回より視聴、いつでも復習できるようにしている。

授業の問題点

- ・A/B に分かれたため初回のガイダンスを 2 回やることになり、シラバスとのズレが発生した。
- ・Teams を全面的に利用しているが、Teams に触れることが初めての学生も少なくない為、課題の提出等で問題を抱える学生が若干名見受けられた。

学生の授業満足度

コロナ禍によって通常とは違う日常において、オンラインの長所を自らの大学生活に取り入れ、柔軟にこれに対応することを学ぶことができたと思われる。社会に出ればミーティングツールの活用は当然の事なので、大学がせっかく用意してくれているツールを、積極的に利用しそのメリットを最大化してもらいたい。

授業改善の課題と方策

- ・毎回の講義の冒頭は新たなテーマの導入を兼ねて前回の復習を行っているが、シラバスのズレを取り戻すために、復習に掛ける時間が全体として少なかった。より柔軟にコントロールする必要がある。
- ・Teams の課題機能を利用したレポート等の提出を課したが、スマートフォンのみで対応しようとする学生が、レポートの作成、提出についてトラブルを抱え提出期限間際に個別の問い合わせをしてくる例が数件あったので、大学構内の PC の利用をより促す必要があった。

その他

各回の講義の骨子となるスライドは配布しているのでこれ以上の配布はしない。各自が必要と考える情報が講義中にあったのならば、講義中に筆記することが肝要と考える。仮に、リアルタイムでの筆記が間に合わなかったのならば、復習用の動画があることは常にアナウンスしてるのだから、それを視聴し筆記することが復習の意味そのものだと考える。